

カリキュラム

1回生

広く福祉について学びながら、学科の学びに必要な基礎的な知識・技術を身につける。

広く福祉について学ぶとともに、養護・福祉教育学に関する基礎知識を身につけます。

2回生

自分たちでテーマを選ぶ演習形式の学びから主体的に調査し、考える力を身につける。

発展的講義で養護・保健・社会福祉・スクールソーシャルワークの学びを深めます。また、演習形式での学びを通して、研究課題に主体的に取り組み、考える力を養います。

3回生

教育福祉、社会福祉、養護教育の学びを深め、各領域から研究分野を選択し、演習を行う。

養護・保健・社会福祉・スクールソーシャルワークの学びをさらに深めていきます。批判的・合理的に考える力、課題発見力や課題解決力を身につけ、表現能力も高めます。

4回生

1つの分野に絞り、高度な専門性を修得、4年間の学修を総合し、卒業研究を完成。

分野を絞り、さらに知識・技能を高めるとともに、4年間の学修を総合して指導教員の個別指導を受けつつ卒業研究を完成させ、生涯にわたって学び続ける能力の確立をめざします。

普通講義

- 社会福祉概論 I
- ◆ソーシャルワークの基盤と専門職 I・II

- ◆社会福祉概論 II
- ◆地域福祉論 I・II



- ◆解剖生理学
- ◆社会学
- ◆臨床医学概論
- ◆教育原論
- ◆教育心理学

- ◆養護概説
- ◆心理学
- ◆人体生理学



- ◆学校保健
- ◆児童・家庭福祉論
- ◆微生物学
- ◆免疫学
- ◆道徳教育論
- ◆特別支援教育論
- ◆教育課程論
- ◆ソーシャルワーク論 I
- ◆教育方法論
- ◆ソーシャルワーク演習 I
- ◆人権教育論
- ◆ソーシャルワーク演習 I

- ◆精神保健 I
- ◆栄養学
- ◆障害者福祉論
- ◆ソーシャルワーク論 II
- ◆ソーシャルワーク演習 II
- ◆刑事司法と福祉



- ◆社会保障論 I・II
- ◆保健科教育法 1・2
- ◆地域福祉論 I・II
- ◆社会保障論 I・II
- ◆保健科教育法 3・4
- ◆看護技術 I・II
- ◆進路指導論
- ◆教育行政学
- ◆精神保健 II
- ◆特別活動及び総合的な学習の時間指導法
- ◆公的扶助論
- ◆保健医療論
- ◆老人福祉論
- ◆身体動作学
- ◆生徒指導論

- ◆衛生学
- ◆小児保健
- ◆健康相談活動論
- ◆社会学
- ◆福祉調査
- ◆運動生理学
- ◆薬理概論
- ◆ソーシャルワーク論 IV
- ◆ソーシャルワーク演習 IV
- ◆ソーシャルワーク演習 V
- ◆ソーシャルワーク演習 V

- ◆福祉サービスの組織と経営

資格取得に必要な実習について

| | |
|------------|---|
| ソーシャルワーク実習 | 社会福祉士国家試験の受験資格要件の一つです。校外実習(240時間)は2回生または3回生で履修できますが、実習に先立って必要な単位を修得する必要があります。(成績等による選抜が行われます) |
| 看護臨床実習 | 養護教諭免許の取得に必要な実習です。医療現場での実習は3回生で履修できますが、実習前に必要な単位を修得しておく必要があります。 |
| 教育実習 | 教員免許状の取得をめざす学生は、教育課程を履修する必要があります。3回生終了時点で規定の単位を修得した学生が、教育実習を受けることができます。 |

実習先は決まっています

学生は各種の実習先を自分で探す必要はありません。養護・福祉教育学専攻では、資格取得に必要な施設を豊富に準備。大学や学科・専攻と提携・連携している各種社会福祉施設、病院や学校などで実習を行います。

将来像に応じた実習先を選択

| | |
|------------------------|---|
| ▶社会福祉士 | ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 |
| ▶養護教諭 | ★救急処置及び看護法 ★看護臨床実習指導 |
| ▶スクールソーシャルワーカー(SSWコース) | スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 |

演習

- 入門演習 I・II

- 基礎演習 I・II

- 演習 I・II

- 研究法 I・II

- 卒業研究

専攻履修科目

- (教育)
- (音楽)

発達心理学

音楽療法

家庭教育論
音楽心理学

学科共通科目

生涯学習概論 I・II

教育・福祉連携論

●必修科目 ◆社会福祉士受験資格取得に関する科目 ★養護教諭一種免許状取得に関する科目(★マークのついた科目のほか、教育の基礎的理解に関する科目など、合計76単位以上修得)

※時間割の都合上複数の資格の修得が困難場合があります ※2022年度開講予定のもので、変更される場合があります

ゼミの担当教員や先輩たちが就職についても手厚いサポート。

3回生からゼミに所属し、本格的な研究がスタート。4回生には、ゼミでの研究をベースに卒業研究に取り組みます。研究室の担当教員や先輩は、就職活動や資格の勉強の貴重な相談役となります。就職についても、進路・就職課はもちろん、教員やOG、実習提携先など、サポート体制が整っています。

